朝陽薬局のお薬配達サービス 「薬達」のご案内

貴施設にご提案がございます。 ***貴施設の「かかりつけ薬局」に！***

入所者さんのお薬を朝陽薬局に任せてもらえないでしょうか？

朝陽薬局が考える理想の薬学的管理とは・・・

① 服薬アドヒアランスの向上。
② 多剤併用に伴う副作用の未然防止。
③ 介助者に優しい各種「一包化」の実施。
④ 服用中の薬と疾患に関する医療情報の提供。
⑤ 夜間・休日問わず閉局中も処方せん応需を約束。

です。

それ以外に

⑥ 飲み忘れた、飲み残した残薬の整理・廃棄。

も申し付けて下さい。

⑦ 貴施設の看護師・ケアマネと連携し、相互のコミュニケーションを心掛けます。
⑧ その場で金銭授受なく、「掛け売り」対応します。

① 服薬アドヒアランスの向上。に関して

高齢者の服薬管理は極めて重要であります。　薬剤師が一包化しようとも最終的には、服薬介助者がいなければ・・・結局薬は正しく飲めずに無駄になってしまうリスクが生じます！

如何にして服薬アドヒアランスを高めるのか？

それは、薬局と施設の協同作業に他なりません。　その協同作業の負担を少しでも軽減できるように処方せん発行元それぞれの医師へ積極的に働き掛けます。

例えば、服用剤数の減少、服用回数の簡素化、食前・食後の薬をまとめる等です。

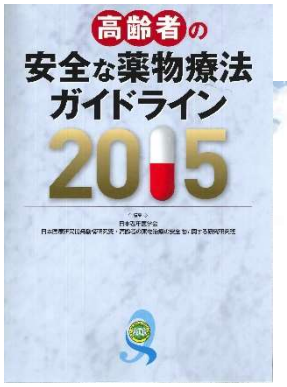
表 1　アドヒアランスをよくするための工夫

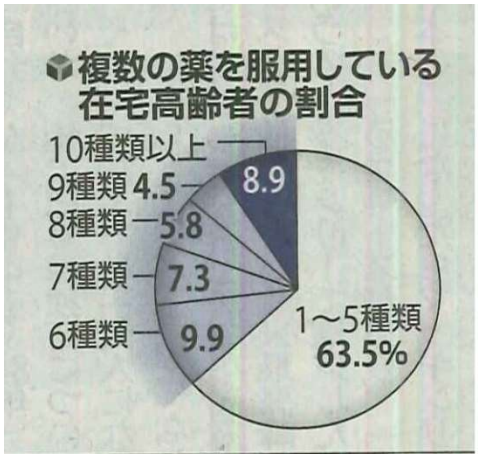
服薬数を少なく	降圧薬や胃薬など同薬効２～３剤を力価の強い１剤か合剤にまとめる
服用法の簡便化	１日３回服用から２回あるいは１回への切り替え 食前、食直後、食後30分など服薬方法の混在を避ける
介護者が管理しやすい服用法	出勤前、帰宅後などにまとめる
剤形の工夫	口腔内崩壊錠や貼付剤の選択
一包化調剤の指示	長期保存できない、途中で用量調節できない欠点あり 緩下剤や睡眠薬など症状によって飲み分ける薬剤は別にする
服薬カレンダーの利用	

（日本老年医学会：健康長寿診療ハンドブック．2011.より引用）

② 多剤併用に伴う副作用の未然防止。に関して

そのためには、現在のみならず過去服用していた薬を知る事が大切です。ですから・・・必ずお薬手帳あるいは薬剤情報提供書などの copy の提示をお願いします。これも協同作業の一環であると考えます。
当然、予見できない副作用もありますが・・・
「一元管理」と「継続管理」を実施する事で予防できる可能性を高めます。
その理由はお察しの通り、他科（多科）受診の多さにあります。それを**「ポリ・ファーマシー（多剤併用）」**と呼びます。
医師が専門化しておりますので、他科（多科）受診は仕方ないと考えます。しかしながら、それぞれ医療機関の隣の薬局で調剤してもらっていれば「一元管理」と「継続管理」は困難で遠い話です。
全ての処方せんを小薬局に FAX いただければお薬をお届けさせて頂きます。
現在、小薬局には 2000 種類の保険薬剤を備蓄しております。更に医療用材料も取り扱っておりますのでご一緒の購入も可能です。
糖尿病患者が自ら血糖値を測定する SMBG 用チップも各種取り扱っております。





一元管理に向けて

疾患別専門医療を受けることが、最善の医療のように思われがちであるが、高齢者にとっては必ずしもそうではない。過少でも過剰でもない適切な医療、および残された期間の生活の質（QOL）を大切にする医療が最善の医療であると、日本老年医学会の立場表明[7]でも述べられている。そのような最善の医療を目指した適切な薬剤変更は、多くの診療科に受診していては困難である。要介護あるいはフレイルな高齢者では、かかりつけ医がハンドルを握り、徐行してでも安全運転を目指すことが大切なのは自明である。処方を一元管理し、治療目標や生活状況を考えながら治療薬の取捨選択を行い、必要な場合に疾患別専門医に意見を求めればよいのである。

処方を一元化するのが困難な場合、せめて調剤薬局は一元化したい。かかりつけ薬局で患者の処方情報はすべて把握し、重複処方や併用禁忌、「特に慎重な投与を要する薬物のリスト」該当薬等をチェックし、疑義照会が適切にできるような体制にすべきである。服薬指導や残薬確認、お薬相談もかかりつけ薬局ならではの重要な機能である。薬局の一元化ができない場合の最後の砦が「お薬手帳」であるが、お薬手帳すら何種類も持っている高齢者がいる。一元化と早期の電子化が渇望される。

③ 介助者に優しい各種「一包化」の実施。に関して、

その際、『一包化』は不可欠であり、貴施設の要望に沿った薬袋印字を考えております。
下段の一例をご覧下さい。これ以外にも、ご要望に応じてフォーマット作成いたします。

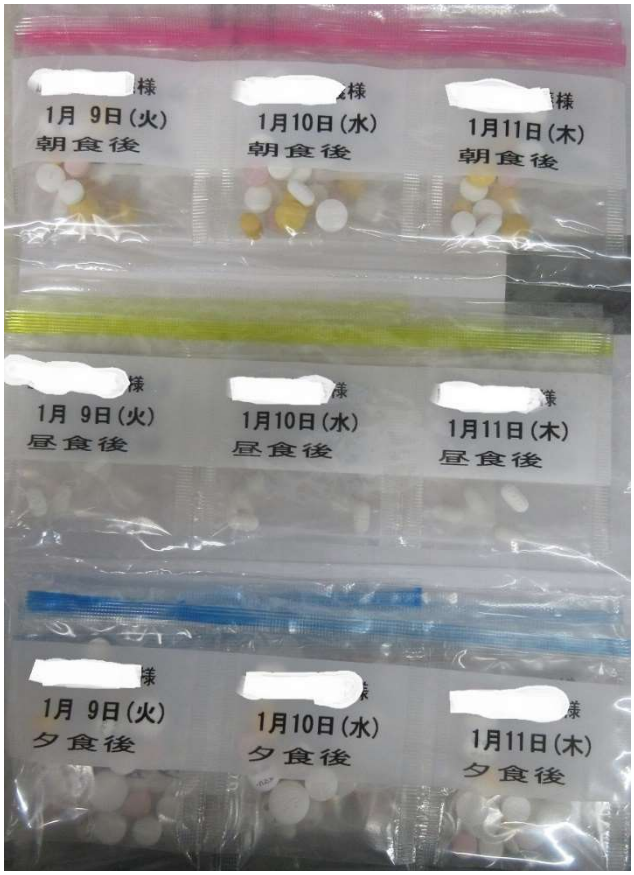
最もシンプルな印字タイプです。

患者名
+【用法】
朝食後： ピンク（赤）マーカー
昼食後： 黄色マーカー
夕食後： 青色マーカー
+【錠数】
９個、４個、４個など
５個、３個、８個など
ちなみに
眠前（寝る前）：紫色マーカー
を使用します。

服薬アドヒアランスを高める為に
月日（曜日）を印字します。
+
患者名
＋用法＋コメント

印字パターンは各種あります。

目の悪い方には、
日（曜日）のみを大きく印字する
事も可能です。



朝:ピンク色
昼:黄色
夕:青色
寝る前:紫色

でマーカーを引いてお渡しします。

患者名
＋
月日(曜日)
＋
用法
です。

一包化薬の中身が知りたいと考える
介助者向きです。
（薬袋を見ずとも正確な情報を！）
薬剤名＋規格＋錠数
が印字されます。
最大４剤まで可能です。

半錠の規格が存在しない場合は、良く「半分に割って」との指示もあります。

その場合、割線に沿って
良くある半錠で調剤した場合は
こんな印字になります。

患者名
＋
用法
＋
コメント

任意のコメントが印字可能です。
本ケースは他科受診の薬をまとめた例。
その他、**「部屋番号を印字」**する事も可能です！

ご自宅で療養されている方は、名前は要らないと言われるケースもあります。

その場合、**用法のみ印字**しますが・・・56 日分 pack したかどうか担保できませんと薬局として失格です。

通し番号を印字して担保と考えております。
この場合、**1/56～56/56 と右下段隅**に印字されます。

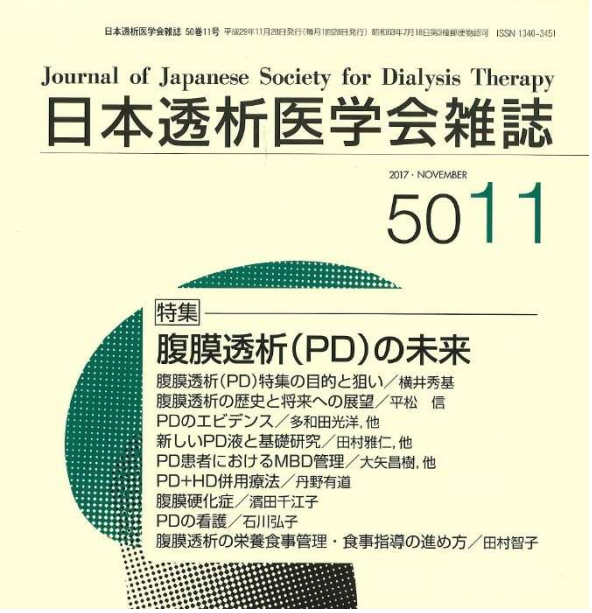
医療保険で認められている一包化の算定要件は、

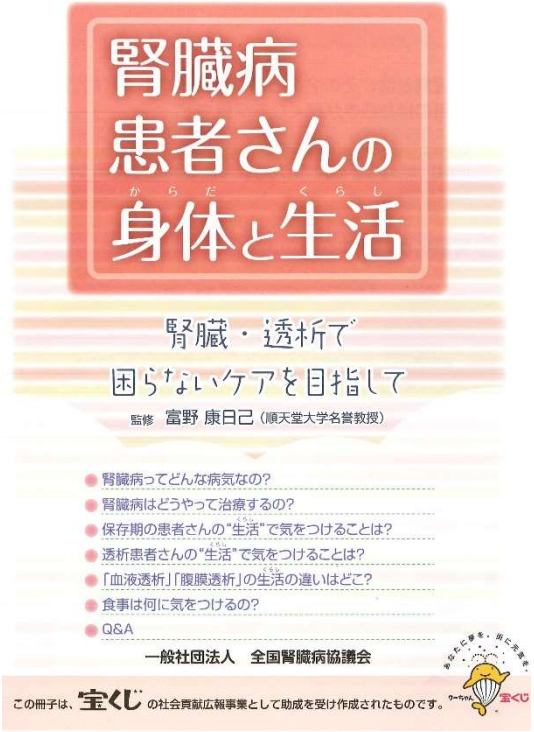
- 多種類の薬剤が投与されている患者においてしばしばみられる薬剤の飲み忘れ、飲み誤りを防止する。
- 心身の特性により錠剤等を直接の被包から取り出して服用することが困難な患者に配慮する。

等を目的とし、治療上の必要性が認められる場合に、医師の了解を得た上で行うものである。
平易に言い換えれば
・本人が薬の管理ができない。
・手や指が不自由で、PTP から薬をうまく取りだせない。
等の場合に限り、発行された処方せんの備考欄に医師の指示が必要です。
その場合、1 週間（7 日）毎に 32 点（320 円×負担割）で一包化が可能です。
上記の算定要件を満たさない場合は、自費（同額：7 日間で 320 円）で受け賜ります。

④ 服用中の薬と疾患に関する医療情報の提供。 に関して

最新の知見に基づく、医療情報を文書（記事）で提供します。
TV で流れた「確か、○○が良いとそう言っていた。」等、不確実な情報は芳しくありません！
いつでも、文書（活字）で読み返す事ができる情報を copy してお渡しいたします。
もし、透析（HD）中の方がいましたら・・・是非、お声掛けて下さい。
小生は、JSDT【日本透析医学会の正会員】ですから、学会誌も常備しております。
更に、患者会である「せんじんきょう（隔月発行で年 6 刊）も過去 2000 年からファイリングしております。」





http://www.cho-yo-yakkyoku.co.jp/publics/index/28/

スマホでも PC でもご覧になれますので・・・是非、見て行って下さい。

⑤ 夜間･休日問わず閉局中も処方せん応需約束。 に関して

自宅と薬局が同居している昔ながらの店舗兼住居タイプですから、いつでも TEL＆FAX 待っています。
もし隣の薬局が夜間不在であったのなら、まず①出勤（出動）。⇒②調剤　⇒③配達　と時間を要しますが･･･
①の出動時間を省く事が可能です。
配達の条件は、なんと言っても Speedy が重要です。ですから、遠方の門前薬局よりも近所の薬局が一番です！
朝陽薬局が責任を持って対応できる範囲は下記の通り、周囲 1km しかお約束できません。

まずは、往診医の定期処方ではなく、臨時に受診した際の処方せんを FAX 流して下さい。
調剤対応（時間・精度・丁寧さ）をご評価願えれば幸甚でございます。

⑥ 飲み忘れた、飲み残した残薬の整理･廃棄。に関して

右にあるようなブラウンバッグに残薬を入れて薬局へ持参下さい。
お薬を配達した際に、提出願っても結構です。

⑦ 貴施設の看護師・ケアマネと連携し、相互のコミュニケーションを心掛けます。に関して

地域包括ケアシステムでは、医療職種間の連携が不可欠です。
決して、薬剤師一人で全てが完結できる訳ではありません！　ただ、薬の専門家として、自覚と自信をもって医薬品に関して何でも相談し易い環境を整え、お答えできる知識を備えたいと考えます。
顔の見える薬局薬剤師を目指しておりますので、ご遠慮なく、TEL・メールで申し付けてくださいませ。

⑧ その場で金銭授受なく、「掛け売り」対応します。に関して

ご安心下さい。レジ POS システムならでは、容易に月末集金可能です（患者毎・施設毎）。

処方せん調剤の流れ（案）

入所者さんの外来日や往診日に合わせて発行された処方せんを朝陽薬局へ FAX
↓
医師の処方せんに応じて調剤・一包化の実施。
その際、安価な後発（ジェネリック）医薬品を選択して調剤いたします。
↓
基本的に当日中にお薬をお届けいたします。
その際、居宅療養管理指導費（503 単位）は請求しません。

↓
お届けした際に、薬と引き換えに処方せん原本を回収させて頂きます。
↓
（お支払いが生じる入所者さんには掛売で対応します。月末締め切りで翌月現金・振込で結構です）
↓
その他、「一包化」指示以外は、PTP 包装のまま薬袋へ　※

- 「粉砕」指示の場合、OD 錠や散剤・DS を考慮の上で実施いたします。
- お薬手帳用シールは、無料で配布します。

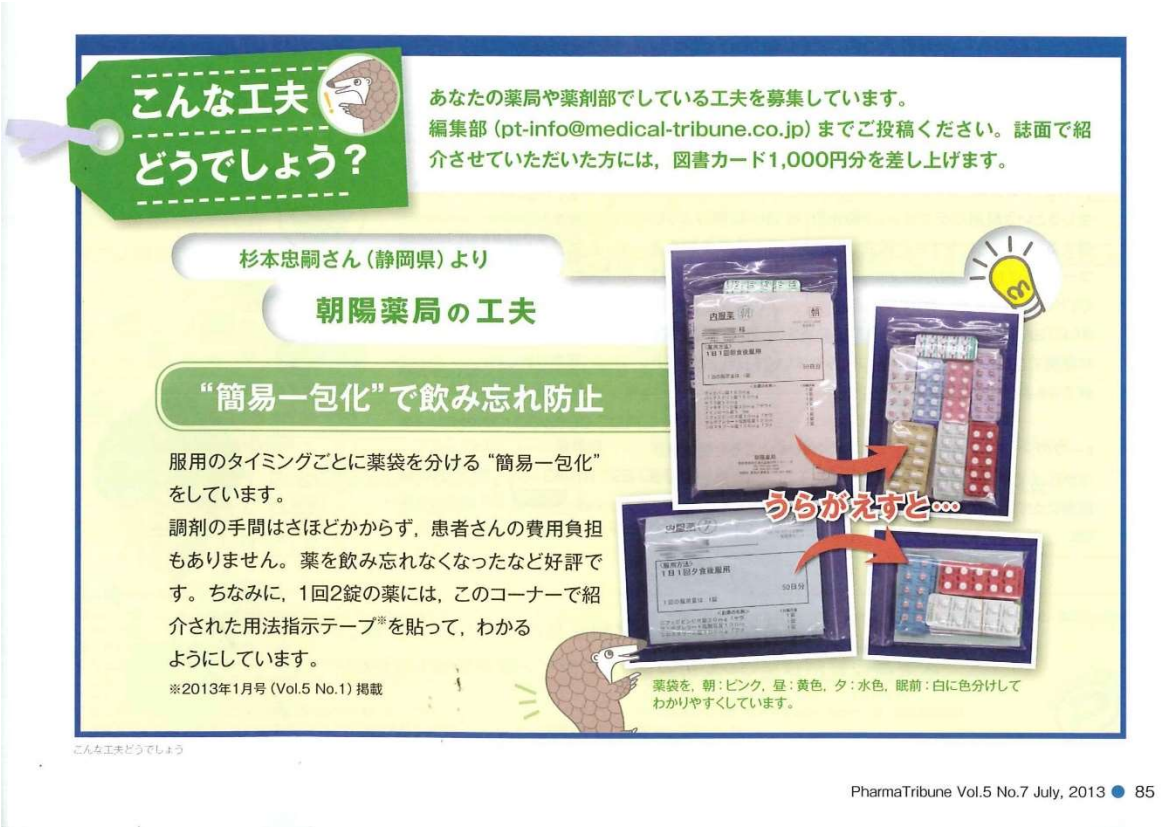
初回の『問診票』記載にご協力お願いします。

請求に関して、

- 患者毎に月末〆にて請求書を発行し、後日領収書を発行する。
- 貴施設へは全員分をまとめた金額をお知らせする。

※ :『簡易一包化』のご提案

服用時点（朝、昼、夕、眠前など）で、薬袋を分け、その中に PTP シートのまま薬を入れます。
毎食後 28 日分なら、朝 28 錠　昼 28 錠　夕 28 錠　となります。



こんな工夫どうでしょう？

あなたの薬局や薬剤部でしている工夫を募集しています。
編集部（pt-info@medical-tribune.co.jp）までご投稿ください。誌面で紹介させていただいた方には，図書カード1,000円分を差し上げます。

杉本忠嗣さん（静岡県）より

朝陽薬局の工夫

“簡易一包化”で飲み忘れ防止

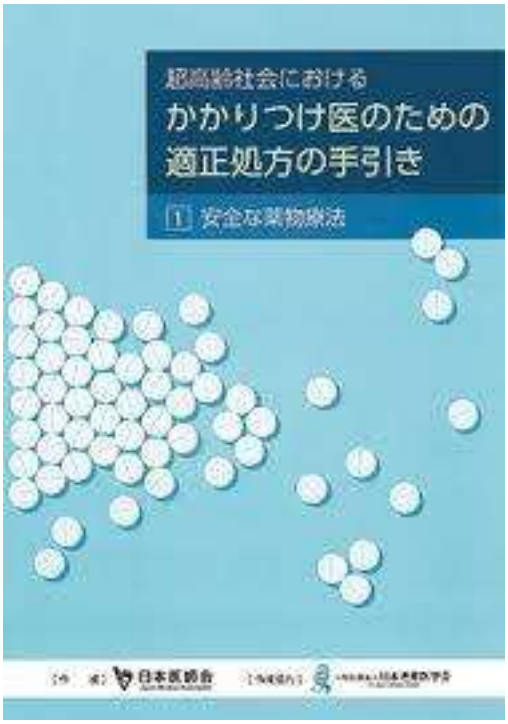
服用のタイミングごとに薬袋を分ける“簡易一包化”をしています。
調剤の手間はさほどかからず，患者さんの費用負担もありません。薬を飲み忘れなくなったなど好評です。ちなみに，1回2錠の薬には，このコーナーで紹介された用法指示テープ※を貼って，わかるようにしています。
※2013年1月号（Vol.5 No.1）掲載

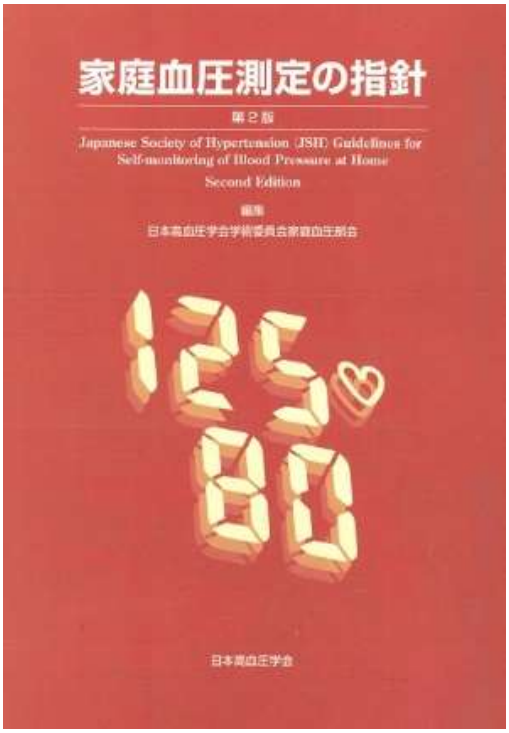
うらがえすと…

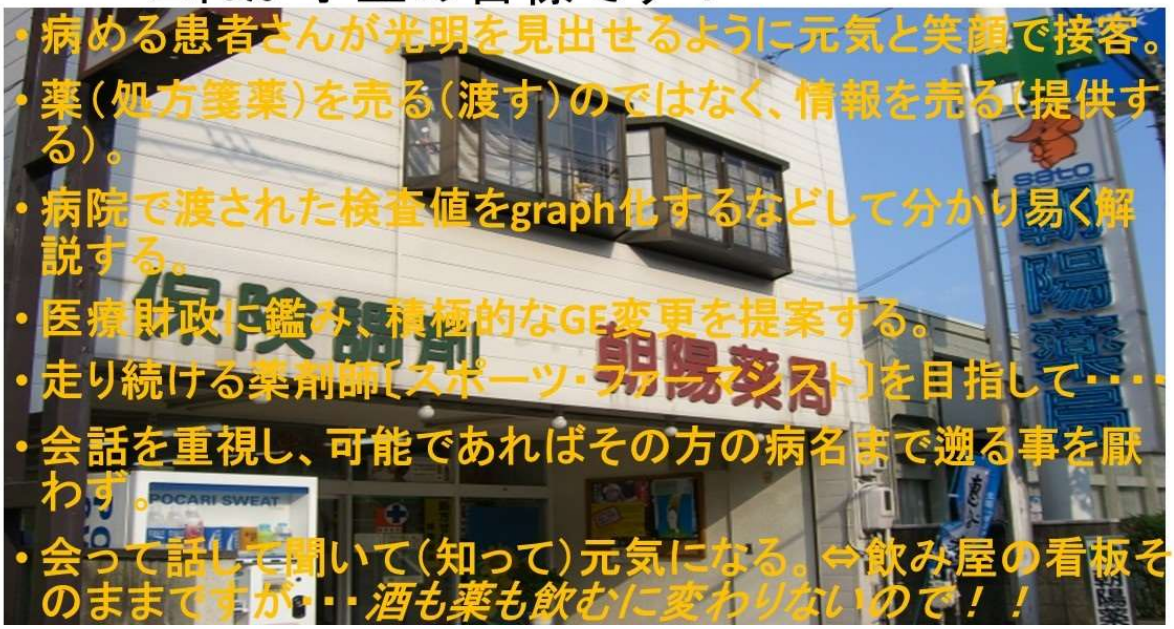
薬袋を，朝：ピンク，昼：黄色，夕：水色，眠前：白に色分けしてわかりやすくしています。

こんな工夫どうでしょう

PharmaTribune Vol.5 No.7 July, 2013 ● 85





医薬書籍も常備しております。ご自由にご覧下さい。貸し出しも OK！です。

（株）朝陽薬局の社是を披露します☆
これが小生の目標です！